

国道36号の交通安全対策(東町～本町、大和町)

■ 現状と課題

東町～本町の国道付近には、登別中学校や登別児童館などが並んでおり、地域住民の通学、通勤などに利用されています。
 また、大和町付近の国道交差点は、踏切を挟んだ道道と接続している箇所であり、幌別市街への通勤などの生活道路として、多く利用されています。
 しかし、国道36号沿線の交差点における車両相互の事故が多発しており、歩行者や通行車両にとって非常に危険であることから、地域住民はもとより国道利用者の安全を確保する必要があります。

■ 要望内容

● 地域住民及び国道利用者の安全確保のための交通安全対策「事故ゼロプラン」の促進。



■ 事業効果

- 地域住民の生活環境の向上
- 地域住民等の安全性の確保